

＜米国上場3倍ブル/ベア型について＞ ETFの投資リスクに関する説明書

当資料では、当社取扱い外国ETFのうち「米国上場3倍ブル/ベア型」に該当する以下の対象銘柄について、特にご留意いただきたい主な投資リスクを説明しています。

1. 対象銘柄

| ティッカー | 銘柄 | 原指数 | レバレッジ | 種別 |
|-------|--------------------------------|------------------|-------|-----|
| SPXL | Direxion デイリー S&P 500 ブル3倍 ETF | S&P500®指数 | 3倍 | ETF |
| SPXS | Direxion デイリー S&P 500 ベア3倍 ETF | S&P500®指数 | -3倍 | ETF |
| TMF | Direxion デイリー 20年超米国債 ブル3倍 ETF | ICE20年超米国債インデックス | 3倍 | ETF |
| TMV | Direxion デイリー 20年超米国債 ベア3倍 ETF | ICE20年超米国債インデックス | -3倍 | ETF |

下記記載事項は2023年4月30日時点の対象銘柄で入手可能な運用会社の資料等に基づいており、今後追加・削除・変更される可能性があります。最新の情報については、お取引店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。

2. 主なリスク（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

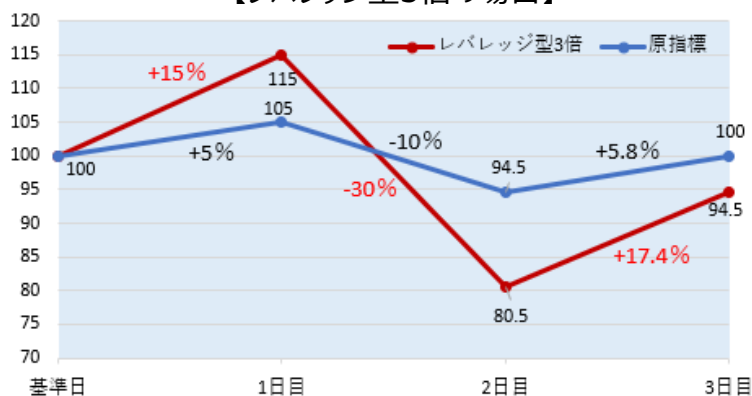
主なリスクは以下のとおりです。（以下に限定するものではありません。）

- 本商品は、対象指標が参照する原指数・原指標の3倍/-3倍の変動率を日次（1日）で達成するように運用されるため、日次ではなく2営業日以上運用期間を見た場合には、本商品の基準価額の変動率は、対象指標の参照する原指数・原指標の変動率の3倍/-3倍とは通常は一致しません。また、原指数・原指標の値動きが上昇・下落を繰り返した場合、マイナスの方向に乖離が生じる可能性が高くなります。
- 原指数が1日で大幅に変動した場合、倍数（+3倍/-3倍）に応じて連動対象指数も大きく変動し、ひいては基準価額等も大きく変動します。レバレッジ型3倍/インバース型3倍は、1日で約33%以上下落/上昇した場合、連動対象指標の値がゼロ以下になり、ETFの基準価額等はゼロとなりますので、投資金額の全額を失います。
- 投資先などの破綻や財務状況の悪化による影響を受けます。
- 本商品の市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まるため、必ずしも基準価額と一致するものではありません。

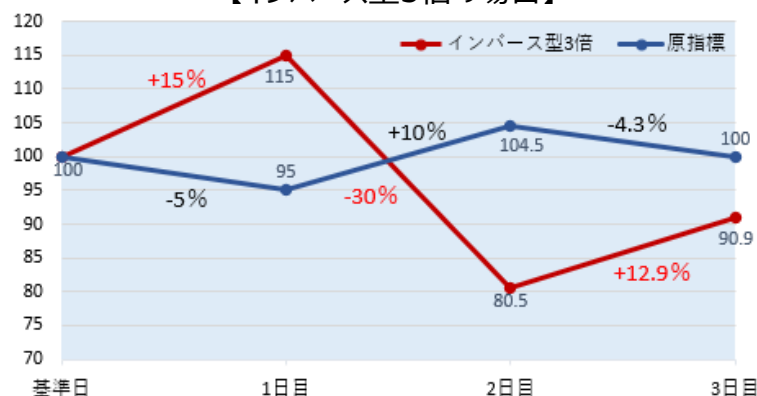
3. レバレッジ型/インバース型の留意点

- 下図のように原指標が上昇・下落を繰り返す局面を考えたとき、レバレッジ型3倍/インバース型3倍指数の日々の変動率は、原指標の日々の変動率の3倍/-3倍を達成しています。しかしながら、原指標は上昇・下落を繰り返しながらも3日目に基準日と同じ水準（100→100）に戻っているのに対し、レバレッジ型3倍/インバース型3倍指数は複利効果が働くため、100→94.5/100→90.9と基準日と同じ水準に回復していません。このように、相場の方向感が定まらず、原指標が上昇や下落を相互に繰り返した場合、レバレッジ型/インバース型指数は複利効果によって、原指標と比較してパフォーマンスが逡減して行くという特性がありますので留意が必要です。

【レバレッジ型3倍の場合】



【インバース型3倍の場合】



4. 開示情報について

米国上場3倍ブル/ベア型ETFは、運用方針等（原指数やレバレッジ比率など）が変更される場合があります。

各ETFの最新情報は、運用会社や取引所等のホームページでご確認いただけます。

- 運用会社グループ（Direxion）のホームページ <http://www.direxion.com/>
- 取引所（NYSEアーカ）のホームページ https://www.nyse.com/listings_directory/etf

| | |
|------|--|
| 商号等 | SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2251 号 |
| 加入協会 | 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会 |